

平成19年 11月 30日
国土交通省都市・地域整備局
下水道部下水道事業課

下水管路の損傷状況に関する点検等調査(第4回)の結果について

これまでの下水道整備により、下水管路の延長は全国で約39万km(平成17年度末)に達しており、耐用年数を超える老朽管路は今後更に増加します。下水管路の老朽化等に起因する道路陥没は、平成18年度には全国約4,400箇所が発生しています。道路陥没は、人身事故や道路交通障害などを引き起こし、社会的に重大な影響を与えかねません。そのため、安全確保の観点から、下水管路の定期的な点検・調査、さらには計画的な改築・修繕を行う必要があります。

このため、国土交通省として下水道事業主体である地方公共団体に対して、その実施を要請しております。

平成18年9月には、特に重要路線(※)下に布設してある下水管路について、布設後の経過年数等を踏まえて、施設の損傷状況を把握するために、緊急的に点検を実施し、その結果を踏まえて早急に対策を実施するよう、地方公共団体に要請したところです。

この度、地方公共団体から報告された、重要路線下の下水管路における第4回目の点検状況等調査結果(平成19年9月末時点)を取りまとめたので公表します。

前回報告(平成19年3月末時点)と比較すると、重要路線下にある管路については、点検実施済の管路延長が約9,200kmとなり前回から約220kmの増加となっています。また、点検の結果、対策が必要とされた管路のうち、対策実施済の延長は約11km増加していますが、対策未実施の管路延長も約37km増加しており、点検に基づいた対策は未だ十分に行われていない状況です。

国土交通省としては、この結果を踏まえ、点検を実施していない管路については早急な点検を求めるとともに、点検の結果、対策が必要と判定された管路については、必要な対策を早期にかつ着実に講じるよう地方公共団体に求めていきます。今後も点検及び対策結果について、定期的に報告を求め、公表していく予定です。

(※)重要路線・・・軌道、災害対策基本法及び同法に基づく地域防災計画に位置付けられた緊急輸送路(車道部)及び避難路(車道部)

問合せ先

国土交通省都市・地域整備局

下水道部下水道事業課

企画専門官 植松龍二 (内線 34212)

電話 代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8430

集計結果の比較

重要路線下に布設されている管路

グラフの数値は上段が延長(km)、下段が割合

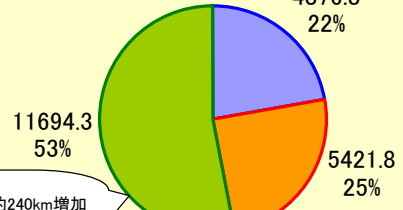
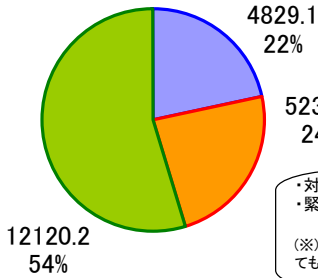
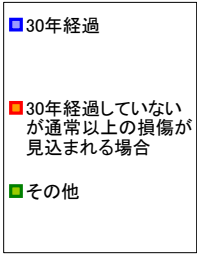
※重要路線…軌道、災害対策基本法及び同法に基づく地域防災計画に位置付けられた緊急輸送路(車道部)及び避難路(車道部)

第3回報告(平成19年3月末時点)

第4回報告(平成19年9月末時点)

重要路線下に布設されている管路(約22,200km)の布設状況

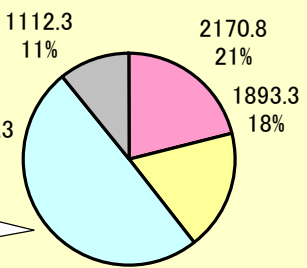
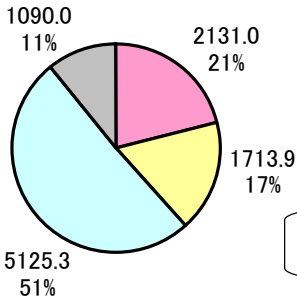
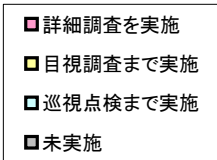
重要路線下に布設されている管路(約22,000km)の布設状況



・対象延長が約200km減少
 ・緊急点検の必要がある管路(※)の延長は約240km増加
 (※)布設後30年を経過した管路および布設後30年未満であっても布設条件等により通常以上の損傷が見込まれる管路

緊急点検の必要のある重要路線下の管路(約10,100km)の点検状況

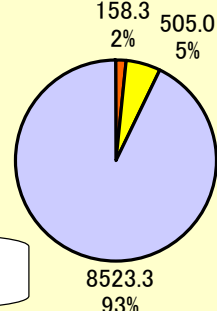
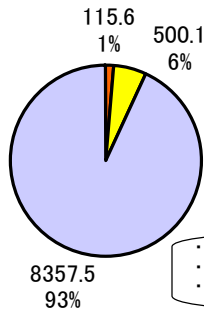
緊急点検の必要のある重要路線下の管路(約10,300km)の点検状況



・点検実施延長は約220km増加
 ・点検未実施延長も約20km増加

点検実施済の重要路線下の管路の損傷状況

点検実施済の重要路線下の管路の損傷状況

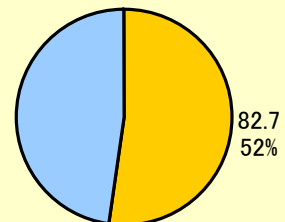
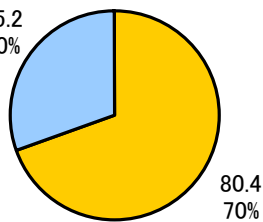
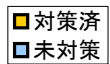


・レベル I (直ちに対策が必要)と判定された管路は約40km増加
 ・レベル II (対策が必要)と判定された管路は約5km増加
 ・レベル III (当面対策の必要なし)と判定された管路は約170km増加

※
 レベル I : 直ちに対策が必要
 レベル II : 対策が必要
 レベル III : 当面対策の必要なし

点検結果がレベル I の重要路線下の管路の対策状況

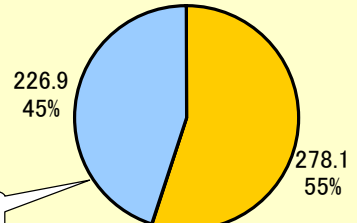
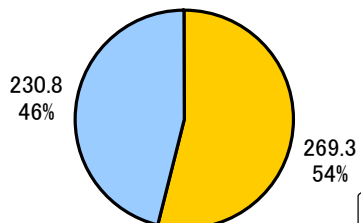
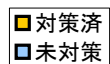
点検結果がレベル I の重要路線下の管路の対策状況



・対策済延長が約2km増加
 ・未対策延長が約40km増加
 (未対策管路については、当該公共団体において早急に対策を実施する予定)

点検結果がレベル II の重要路線下の管路の対策状況

点検結果がレベル II の重要路線下の管路の対策状況



・対策済延長が約9km増加
 ・未対策延長が約4km減少

[四捨五入により合計が合わないことがある]

緊急点検・対策実施状況調査(重要路線下)

2007.9末

都道府県 番号	都道府県名	重要路線下											
		緊急的に点検の 必要がある管路		緊急的に点検の必要がある管路の点検状況				点検実施済管路の損傷状況及び対策状況					
		30年経過	通常以上の 損傷が見込 まれる場合	詳細調査 を実施	目視調査 まで実施	巡視点検 まで実施	未実施	レベルⅠ※		レベルⅡ※		レベルⅢ※	
									対策済		対策済		
1	北海道	1231.0	391.3	828.1	90.2	551.0	531.7	46.5	5.3	5.0	9.1	5.7	1158.5
2	青森県	22.6	7.8	14.8	0.0	0.1	22.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.6
3	岩手県	42.7	9.6	33.1	28.5	0.1	14.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	42.7
4	宮城県	788.2	144.6	187.5	77.4	85.1	169.5	0.0	1.5	1.5	33.6	13.1	297.0
5	秋田県	398.0	38.3	300.4	0.8	57.7	280.2	0.0	0.1	0.1	4.2	0.5	334.4
6	山形県	238.9	121.4	82.6	11.7	24.5	167.6	0.2	0.1	0.0	2.5	0.3	201.2
7	福島県	232.4	25.4	97.1	15.3	9.3	65.4	32.5	0.1	0.0	17.0	4.9	72.9
8	茨城県	868.8	99.7	224.8	40.3	63.1	186.2	35.0	0.3	0.3	8.9	2.5	280.4
9	栃木県	167.9	20.8	45.8	2.7	20.8	42.2	0.9	0.0	0.0	1.7	1.6	64.0
10	群馬県	118.1	82.5	3.7	12.6	0.4	71.5	1.7	0.0	0.0	6.8	5.0	77.7
11	埼玉県	1537.3	280.3	614.7	102.5	17.2	221.8	553.4	0.9	0.1	29.0	15.0	311.6
12	千葉県	665.4	73.7	50.7	23.2	11.1	83.3	6.9	0.9	0.7	2.7	0.2	114.0
13	東京都	2100.0	983.3	49.5	707.7	88.4	236.7	0.1	46.2	46.2	143.0	143.0	843.6
14	神奈川県	2496.6	426.4	393.9	106.2	143.9	349.6	220.6	3.0	2.9	12.4	5.2	584.3
15	新潟県	378.6	23.8	64.8	7.1	2.7	77.6	1.2	2.3	2.3	27.8	12.2	57.3
16	富山県	37.4	15.9	21.5	9.3	8.7	19.4	0.0	0.9	0.9	0.7	0.7	35.8
17	石川県	249.5	21.4	128.2	23.4	17.1	105.6	3.6	0.0	0.0	1.8	1.6	144.3
18	福井県	188.2	1.4	41.3	0.9	0.0	41.7	0.0	0.0	0.0	0.9	0.9	41.7
19	山梨県	185.0	13.6	136.8	25.2	15.6	109.6	0.0	0.0	0.0	3.3	0.6	147.1
20	長野県	994.8	43.3	117.7	48.2	28.6	84.2	0.0	1.3	0.7	9.9	7.8	149.8
21	岐阜県	366.9	64.7	105.8	32.5	1.8	136.1	0.0	0.9	0.9	2.2	1.9	167.3
22	静岡県	449.6	57.3	55.2	45.2	9.2	55.6	2.6	1.7	1.7	1.6	0.5	106.7
23	愛知県	1650.5	301.5	267.8	119.1	46.5	391.1	12.6	3.5	0.2	11.5	1.1	541.7
24	三重県	129.7	32.9	12.8	6.9	0.7	38.1	0.0	0.0	0.0	1.6	1.0	44.1
25	滋賀県	338.3	7.7	67.5	11.9	22.7	35.7	4.9	0.0	0.0	0.5	0.0	69.8
26	京都府	455.8	80.2	122.7	43.9	28.7	86.1	44.1	1.3	1.3	14.0	3.7	143.5
27	大阪府	976.8	616.9	75.0	137.0	61.9	490.0	3.0	16.4	0.2	31.4	3.6	641.1
28	兵庫県	1353.5	205.4	329.2	124.0	92.1	305.7	12.8	2.3	2.2	60.2	19.6	459.4
29	奈良県	610.5	43.7	26.1	1.4	11.5	52.5	4.4	2.1	0.1	0.0	0.0	63.3
30	和歌山県	22.0	22.0	0.0	0.4	0.3	21.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0
31	鳥取県	148.2	12.6	7.5	15.5	0.9	3.8	0.0	2.1	1.9	3.5	0.0	14.5
32	島根県	119.9	0.0	119.9	4.2	48.9	66.8	0.0	3.5	3.3	0.1	0.0	116.3
33	岡山県	347.0	53.8	2.3	3.1	37.0	15.9	0.1	0.8	0.8	0.1	0.0	55.1
34	広島県	136.1	56.3	29.8	46.9	1.1	15.1	23.1	2.1	1.3	2.7	1.8	58.3
35	山口県	368.6	29.7	75.2	39.6	42.1	23.2	0.0	0.2	0.0	4.2	0.0	100.5
36	徳島県	13.1	7.7	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7
37	香川県	43.7	14.7	29.0	1.0	1.0	41.7	0.0	1.3	1.3	0.4	0.1	42.0
38	愛媛県	12.9	8.0	4.9	3.8	1.0	8.1	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	9.1
39	高知県	24.1	4.1	0.0	0.0	0.0	1.9	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9
40	福岡県	1239.4	314.8	543.9	166.8	315.4	324.5	52.0	55.5	6.1	31.8	19.9	719.4
41	佐賀県	11.2	11.1	0.1	0.6	0.0	9.3	1.3	0.0	0.0	0.6	0.6	9.3
42	長崎県	62.1	9.6	52.4	0.0	13.6	48.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	62.1
43	熊本県	19.1	19.1	0.0	0.2	1.2	3.8	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.2
44	大分県	34.9	12.6	22.3	1.0	0.8	24.2	8.9	0.0	0.0	0.3	0.1	25.8
45	宮崎県	24.1	24.1	0.0	2.0	0.0	20.0	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	22.0
46	鹿児島県	41.4	1.9	25.7	13.3	8.3	2.0	4.1	0.0	0.0	5.1	2.2	18.5
47	沖縄県	52.1	39.8	9.8	17.5	1.2	13.0	17.9	1.8	0.8	14.1	1.2	15.8
合計		21992.9	4876.8	5421.8	2170.8	1893.3	5122.3	1112.3	158.3	82.7	505.0	278.1	8523.3

※ レベルⅠ：直ちに対策が必要
 レベルⅡ：対策が必要
 レベルⅢ：当面对策の必要なし

[四捨五入により合計が合わないことがある]